

いのち

題字：土岐市長 大野信彦

第3号

発行：平成22年7月1日



土岐市立総合病院



土岐市老人保健施設やすらぎ “理念”

やすらぎは、利用者の人格を尊重し、
安全を守り、安心を提供しつつ、
在宅復帰を目指し、機能維持と改善への努力を行う。

やすらぎは、利用者の人格を尊重し、
安全を守り、安心を提供しつつ、
在宅復帰を目指し、機能維持と改善への努力を行う。

施設ご利用の多くは、税金や40歳以上の方々からの保険料によつて賄われています。ご利用者ばかりではなく、市民の皆様を含めた多くの方々の支えによつてこの施設が成り立つている事を忘れる事なく、お役に立つ努力をいたしたいと考えています。ご家庭で介護されている方にしばしの休息をしていただくお手伝いや介護方法のご指導、さらには介護される方々がお互いに話し合える場の提供、ボランティア活動を通じての地域の方々との交流なども行っています。

今後も土岐市の「やすらぎ」として、ご利用いただいている方々やご家族の皆様のご希望に可能な限り沿える様にして参りたいと思ひますので、よろしくご指導、ご協力お願い申し上げます。



「やすらぎ」のご紹介

土岐市老人保健施設やすらぎ施設長

高橋 典二

平成11年3月土岐市老人保健施設やすらぎは誕生いました。開所当初は病院からご家庭への橋渡しの場、さらにご家庭に戻る事のできない方をお預かりする場というのが専らの役目と考えられていましたが、翌年の介護保険制度施行、さらに國の方針や社会の要請に伴い、私どもの役割は次第に変化して参りました。損なわれた機能の改善や悪化予防、機能維持への働きかけ、残された機能で補おうとする能力への援助が大きな目的となつて来ています。

施設でご提供している介護サービスは、症状が安定し、入院の必要はなくとも、介護が必要な方に対しても、家庭生活への復帰を目指した生活リハビリテーションや介護・看護であります。長期の入所だけでなく、数日のショートステイや帰りのデイケアなども行っております。これらのサービスをご利用のすべての方々がご自分の希望される満足できる生活を送つていただけることを心がけています。しかし、制度上病院とは異なり、病状が不安定でその時々にあつたお世話が即座に必要な方、また変化する症状にあわせた治療が必要な方のご利用は困難となっています。

施設ご利用の多くは、税金や40歳以上の方々からの保険料によつて賄われています。ご利用者ばかりではなく、市民の皆様を含めた多くの方々の支えによつてこの施設が成り立つている事を忘れる事なく、お役に立つ努力をいたしたいと考えています。ご家庭で介護されている方にしばしの休息をしていただくお手伝いや介護方法のご指導、さらには介護される方々がお互いに話し合える場の提供、ボランティア活動を通じての地域の方々との交流なども行っています。



看護部紹介

病院組織の中で看護部は独立した一部門として、患者様への療養上の世話を担当しています。看護師一人ひとりが、誇りを持って患者様に看護を提供できるように、日々努力しています。また、看護師全員が、接遇を大切にし、何気ない患者様の会話の中から、個々の患者様の情報をつかみ、患者様一人ひとりにあった看護を提供できるよう、日々話し合いや研修を積み重ねています。患者様の病気が回復し、心も癒され元気に帰宅していただければ、私達看護師にとっても何より嬉しいことです。

当院では11月から電子カルテを導入予定の為、看護部も全員で看護診断の勉強や、色々な部門の話し合いに参加し、意見を交換しながら、看護の質が向上するよう、電子カルテの導入に向け努力を続けています。



ふれあい看護体験を実施しました



看護の日が5月12日と制定されて20年目となった今年も全国で「折れそうな心まで支えてみせる」というテーマでふれあい看護体験が実施されました。当院でも5月8日に看護師になりたいと希望する高校生15名を対象に「ふれあい看護体験」を実施しました。東濃地域は長年看護師不足が続いている。看護部一丸となって、一人でも多くの後輩ができる事を期待し、看護の大切さや楽しさを体験・見学して頂きました。



看護師・准看護師さん

私たちと一緒に働きませんか

土岐市立総合病院では、看護師・准看護師さんを募集しています。

働く時間・仕事内容は相談・応援いたします。ぜひご連絡下さい。

准看護師さん進学応援します

近くに東濃看護専門学校（定時制）があります。

当院で働きながら看護師の免許を習得しませんか。意欲のある准看護師さん（准看護学生さん）ご連絡・相談してください。

看護師を目指している学生さん

奨学金制度を利用しませんか

土岐市から月額7万円貸付けします。

貸付期間に相当する期間を当院で勤務することにより返済は全額免除となります。



*詳しくは総合病院看護部へお電話下さい。

0572-55-2111

（内線2832）担当 水野まで



糖尿病教室 のご案内

当院ではどなたでも参加いただける糖尿病教室（無料）を開催しております。

糖尿病の最新の知識が得られ、質問にもお答えしております。

平成22年4月からは下記の内容で、毎月第2水曜日の午後3時から薬局前で開催しています。

月　日	内　容	担　当	氏　名
7月 14日	「楽しい食事療法」	栄養士	安江 奈千
8月 11日	「糖尿病と心筋梗塞」	医 師	佐分利 良公
9月 8日	「検査のはなし」	臨床検査技師	藤田 英治
11月 10日	「糖尿病と腎臓病」	医 師	村山 慎一郎
12月 8日	「運動のはなし」	理学療法士	松崎 光司
1月 12日	「糖尿病と合併症」	医 師	柴田 みゆき
2月 9日	「糖尿病と網膜症」	医 師	
3月 9日	「足の裏って見たことがありますか」	看護師	

なお、都合により担当・内容が変更されることがあります。

糖尿病と診断されている方もそうでない方も、一緒に身近な病気と健康について考えてみませんか？

11月1日より電子カルテを導入します

当院では平成22年11月1日より電子カルテシステムの運用を開始いたします。今までの紙カルテから、コンピュータで管理されたカルテ情報により診察を行います。先行して今年2月からレントゲン写真をコンピュータで閲覧するシステム（PACS）を導入しました。

電子カルテって何？

今までのカルテは紙でしたので、ページの追加や、検査結果等の貼り付け、カルテの運搬や保管など、すべて人の手で対応をしていました。

電子カルテは紙カルテに記載されていた情報を中央のカルテ管理端末に電子情報として記録し、そこから情報を呼び出すことによってどの診察室の端末でも見られるようにしたものです。

電子カルテはどうなるの？

今まで紙カルテに書いていた情報や伝票に書いていた検査やレントゲンのオーダーを情報端末に入力し、蓄積することで、端末があれば院内のどこからでも必要な情報が見られますし、同時に複数人で閲覧することも可能になります。さらに、電子化することによって紙カルテを保管するスペースが不要となります。

2月に運用を開始したPACSはレントゲンフィルムを端末で閲覧するシステムです。今までレントゲン撮影後フィルムに焼きつけて、診察室にてシャーカスティンと呼ばれる白い電灯付きの器具で閲覧をしていました。その後フィルムは管理庫へ運ばれ患者様ごとに保管されていました。現在は、診察室にある縦長の大きな画面にレントゲンの画像を表示して診察を行つ

ています。レントゲン画像の情報は中央の画像管理端末に保存されており、そこから目的のレントゲン画像を瞬時に呼び出し表示しています。

電子カルテシステムが始まると、中央のカルテ情報管理端末から目的のカルテ情報を瞬時に呼び出し表示することができます。また、検査結果についても、そのほとんどが端末で見られるようになりますので、検査結果待ちの時間が短縮できると考えられます。さらに、診察待ちや会計待ちの順番を表示する大型ディスプレイを設置し、進行状況をディスプレイに随時表示しますので、診察や会計の進み具合などもご確認いただけるようになります。

また、電子カルテシステム稼動に合わせ、新たに検査室の一室を改修して中央採血室（仮称）を設け、検査結果が出るまでの時間短縮と業務の効率化を目指していきます。

電子カルテを活用して

外来カルテや入院カルテ、検査画像、検査データなどの情報を一元的に管理できるようになるため、病院スタッフ一同、様々な視点から総合的に安心した医療を提供することを目指します。一方で、他の病院と同じく土岐市立総合病院にとっても医師、看護師の確保は大きな課題です。電子カルテシステムを導入することで職場環境の充実を図り、少しでも多くの人材を呼び込むことができればと考えています。

これからも安心して土岐市に住んでいただけるよう、更なる医療設備の充実、人材確保を進めていく予定です。



新しい医師を紹介します

1月1日より



蒲郡市民病院より

外科第二部長 兼中央手術室部長 柳間 勝利

研修医より7年間お世話になった病院へ戻らせて頂きました。初心にかえり精進すべきと考えております。宜しくお願ひ致します。



名古屋掖済会病院より

内科医師 吉村 透

以前の病院では消化器科を担当していました。総合病院でも消化器内科を中心に入院・外来の診療をさせて頂きます。又、胃カメラ、大腸カメラなどの検査も行っています。宜しくお願ひいたします。



研修医 加藤 宏雄

まだまだ医師として未熟で至らない部分が多くあるとは思いますが、少しでもこの地域に貢献できるように精進していきたいと思います。



研修医 蜂谷 純基

穏やかで過ごしやすい環境のこの病院で働ける事をとても嬉しく思っています。病院のために、何よりもこの地域の市民の皆様のために精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

4月1日より



海南病院より

内科医長 保井 光仁

地域の方々から信頼して頂けるように、精一杯努力してまいります。何卒宜しくお願い致します。



名古屋市立大学病院より

眼科医師 望月 里恵

平成22年4月より土岐市立総合病院に勤務させていただきました。人もあたたかく、自然豊かなこの地域に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。



研修医 野崎 晃

働き始めてからまだ日が浅いですが、土岐の人々の心温かさに日々、感謝しながら、のびのびと研修をさせていただいております。私自身もこの暖かい雰囲気の一員となるよう、努力していきたいと思いますので、これからもよろしくお願ひいたします。



研修医 安見 亜希

医師としてまだ未熟ですが、上の先生方や他のコメディカルの方に教えてもらいながら、日々頑張っています。どうぞよろしくお願ひします。

外来診療表

平成 22 年 7 月

診療科名	月	火	水	木	金	備考
内 科	1 診 内分泌	柴田 みゆき	川喜田 節代	安田 詩奈子	柴田 みゆき	川喜田 節代
	2 診 呼吸器	日比野 佳孝			山 下 良	
	3 診 新患	若林 宏和 (総合内科)	渡壁 恭子 (血液内科)	柴田 みゆき (消化器)	保井 光仁 (循環器)	南堂 吉紀 (血液内科)
	5 診	保井 光仁	山内 辰也	南堂 吉紀	若林 宏和	渡壁 恭子
	6 診 循環器		服部 和樹	塚本 英人	服部 和樹	塚本 英人
	7 診 消化器	白井 修	渡辺 武人	吉村 透	白井 修	渡辺 武人
	8 診	(循環器) 佐分利 良公	(循環器) 佐分利 良公	(循環器) 奥村 健二	(循環器) 山内 辰也	(血液内科) 安田 詩奈子 (内分泌)
	2 診	三竹 愛子	土川 聰		三竹 愛子	土川 聰
神 経 内 科	3 診	高橋 典三	大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史
	内科 10 診		河野 親夫			
腎臓内科		中嶋 貴	村山 慎一郎	三輪 真幹	中嶋 貴	村山 慎一郎
外来ドック室	清水 豊	清水 豊	清水 豊	清水 豊	清水 豊	榎原 聰
整形外科	禁煙外来 (PM)	(隔週)				
	1 診	大石 央代	西本 聰		西本 聰	西本 聰
	2 診	市瀬 彦聰	吉岡 淳思	山村 俊介	下山 哲生	
外 科	特殊外来 (PM)					中川 研二
	1 診	伊藤 昭宏	榎間 勝利	丹羽 信之介	(血管外科) 川西 順	榎間 勝利
	2 診	多和田 雄介	丹羽 信之介	多和田 雄介	伊藤 昭宏	(血管外科) 川西 順
	呼吸器外科外来 (PM)					沼波 宏樹
小児科	1 診	元吉 史昭	元吉 史昭	虫明 亨祐	虫明 亨祐	元吉 史昭
	2 診	虫明 亨祐	虫明 亨祐	元吉 史昭	元吉 史昭	虫明 亨祐
	特殊外来 (PM)	(腎臓・予防注射)	(喘息・アレルギー)	(心臓)	(喘息・アレルギー)	(乳児・成長)
	元吉 史昭	元吉 史昭	虫明 亨祐	元吉 史昭	虫明 亨祐	
耳鼻咽喉科	1 診	大橋 雅玄	大橋 雅玄	大橋 雅玄	大橋 雅玄	第1・3・5 大橋雅玄 第2・4 水谷俊太郎
	2 診	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	植田 広海
眼 科	1 診	山田 潔	山田 潔	山田 潔	山田 潔	
	2 診	望月 里恵	望月 里恵	望月 里恵	望月 里恵	望月 里恵
産婦人科	1 診	田中 隆行			中村 智子	田中 隆行
脳神経外科	1 診	熊谷 守雄	北島 英臣	熊谷 守雄	中川 二郎	北島 英臣
形成外科	1 診	飯島 由貴	飯島 由貴	飯島 由貴	飯島 由貴	飯島 由貴
泌尿器科	1 診	大菅 昭秀	金井 茂	山本 徳則	大菅 昭秀	金井 茂
歯 科		横井 彰	松本 享	横井 彰	横井 彰	横井 彰
精神科	1 診	(初診) 加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹
	2 診		曾根 靖貴	鈴木 幹央		(特殊外来) 関 正樹
皮膚科	1 診	坂 義経	坂 義経	坂 義経	坂 義経	坂 義経
	2 診	守屋 智枝	守屋 智枝	守屋 智枝	守屋 智枝	守屋 智枝
放射線科		松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁
	治療			森田 皓三		
リハビリテーション		当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医

この色表示は、非常勤の医師を示しています。

◇受付時間 午前 8 時 30 分～午前 11 時 30 分まで

◇休診日 土日祝祭日、および年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

◇面会時間 午後 1 時～8 時まで

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。

*印の診療科は、予約制となっております。

(初診でかかる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。)

2 次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院（瑞浪市）と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、休日、祭日については、毎週（月）（水）（木）と第2、4（土）（日）が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。（診療科によっては受け入れられない場合があります。）

土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設「やすらぎ」

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572) 55-2111 FAX：(0572) 54-8488 E-mail：byoin@city.toki.lg.jp